

令和6年度第三者評価 改善状況報告書

令和7年5月30日

施設名	港区立高輪いきいきプラザ	施設所管課	高輪地区総合支所管理課
所在地	東京都港区高輪3-18-15	指定管理者	社会福祉法人 奉優会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和7年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和7年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
<p>職員のさらなるスキルアップを目指し、個別の目標管理を文章化して視覚化する取り組みを計画しています。職員の経験年数に幅があり、10年以上の経験を持つベテラン職員から新入職員まで、多様な背景を持った職員が活躍しています。このような職員たちは意識レベルが高く、自然と目標設定や会議がおこなわれる体制が整っています。一方で議題や議論が文章として記録されないまま進行している状況が課題としてあがっています。特に所内会議での議論や非常勤職員の個別目標管理に関しては、書面化が不十分なところがあるため、具体的な改善点や成果が見えにくい状況です。そのため、所内会議で出た議題や議論の内容や個別の目標管理を文章化し、視覚化することで、非常勤職員を含むすべての職員に情報共有がより円滑になり、さらには職員一人ひとりが自らの成長を実感しやすくなるだけでなく職員全体のスキルアップと、利用者へのより良いサービス提供につながることに期待します。</p>		<p>所内会議の次第に、各職員から共有及び発信するよう氏名を明記したことで、自発的に発信する職員が増加傾向にあります。</p> <p>また議事録を当番制で必ず作成し、館長に確認、掲示することで職員間での認識の統一化が図れるようになりました。</p> <p>各職員の担当事業及び担当業務を一覧表にし、全職員が所内会議で共有しています。面談時にも活用し、各職員の進捗状況の確認やスキルに合わせた業務配分に努めています。</p>	<p>所内会議は令和6年度の改善を継続します。</p> <p>また、職員のスキルアップとして、社内研修・eラーニングを実施し業務に関係した知識を学ぶ機会を作っていきます。</p> <p>非常勤職員にも、面談を通じて日々の業務のフィードバックを行い、職員のモチベーションの維持を図っていきます。</p>	<p>所内会議の議事録を掲示して職員間での認識の統一を図るなど、改善に取り組んでいます。多様な背景を持つ職員が一層活躍できるよう、非常勤職員を含む全ての職員で、情報を共有し、職員全体のスキルアップと利用者へより良いサービス提供に繋げていくことを期待します。</p>
<p>施設では、新規の方にも施設をより利用していただくための取り組みが課題となっています。現在、事業や講座に関しては定期に開催する内容が多く、利用者が定着している傾向です。一方で、新規利用者の来館数が伸び悩んでいることが現状の課題としてあげられています。既存の講座は高い人気を維持しているため、これまでの利用者のニーズに応え続けることが重要です。一方で、新規の利用者を増やすためには、既存の事業と新規事業のバランスをとることが求められています。そのため、利用者懇談会などを活用し、普段から施設に来館している利用者の意見を聴きながら、新しい事業の計画に向けた取り組みを検討しているとのこと。利用者の意見を積極的に取り入れ、新規利用者の来館促進や、施設全体のさらなる活性化につながることに期待します。</p>		<p>新規事業は少なかったものの、既存の人気事業については継続することができており、周期の申込時期には新規の登録者が増加しました。</p> <p>新規登録者が継続的に来館していただけるよう、積極的にコミュニケーションを図り、馴染みやすい雰囲気づくりを心がけています。</p>	<p>既存事業充実している介護予防や体操以外の、美容や食・栄養に関する内容を単発で開催し、新規事業を開拓していきます。</p> <p>利用者の応募状況や満足度から複数回実施とするのか、また新規登録者増加に繋がるものか、フィードバック重ねて精査していきます。</p> <p>社会福祉協議会や出前講座を実施している企業とも連携し、質の高い事業を開催することで、いきいきプラザの魅力を引き出していきます。</p> <p>また、利用者懇談会を今後も定期的を開催し、利用者からの声を聴く場を大事にしていきます。</p>	<p>新規登録者を増やし、新規利用者に継続的に来館してもらえよう、事業の応募状況や満足度などを精査し、利用者のニーズに応える事業の実施を期待します。</p> <p>また、利用者懇談会などを活用し、利用者からの意見を積極的に取り入れ、施設全体の活性化に繋がるような取組を促します。</p>